

2023年5月31日

学校法人三幸学園
横浜医療秘書専門学校
校長 坂本 紀典 殿

学校関係者評価委員会
委員長 垣野 裕

学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 垣野 裕 (社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 医事管理部 部長)
- ② 中嶋 和夫 (大成建設株式会社 横浜支店 営業部 営業課長)
- ③ 佐々木 康人 (飛鳥未来高等学校 横浜関内キャンパス キャンパス長)
- ④ 田上 正義 (社会医療法人財団互惠会 大船中央病院 情報管理システム課
: 卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年5月31日 (会場 横浜医療秘書専門学校 403教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2022年度 学校法人 三幸学園 横浜医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 大川 正裕

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 垣野 裕

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

●授業アンケート結果の向上

授業アンケート評価の課題

- ・先生はあなたの名前を覚えてくれていましたか？ 目標 3.58 → 結果 3.60
- ・授業方法は、生徒の興味をひくように工夫されていきましたか？ 目標 3.62 → 結果 3.46

授業にて生徒の興味を引く工夫に関しては全国結果を上回ることは出来なかった
今後は更に授業工夫をとり入れることが課題である

昨年度の課題で今年度実施したこと

- ・機材充実 → オンライン授業の環境設定・PPT 使用時の高性能機材購入
- ・姉妹校教科連携を図り教科チーフから発信により授業資料の共有 → 授業データの資料共存
- ・図書室活用 → 授業資料活用

●退学率の減少

コロナ禍ではオンライン授業が多く取り入れられていたが、全面登校型授業になることにより課題提出による出欠管理ではなくなった。With コロナ時代に突入し登校することが難しい生徒も少なくなかった。

担任だけではなく、副担任や教科担当の協力も得ることの重要性を感じた。

令和3年→ 12名/274名 4.7%	学園全体	令和3年→ 6.5%
結果 令和4年→ 16名/316名 5.1%	学園全体	令和4年→ 7.9%

●生徒就職満足度の強化

前年度卒業生の就職満足度が低かったため、エリア担当の就職斡旋の強化を図った

- ・エリアが主軸になる就職活動の促しを多く行った
- ・医療機関人事の方や卒業生をお招きし、学校での説明会を数多く実施した
- ・早期研修者 23名 10月～12月 → 出戻り数 8名(出戻りに関しては今後の課題である)

② 学校関係者評価委員会コメント

(垣野委員長 医療秘書科・診療情報管理士科)

- ・現場に入職する方も、コロナ禍で実習を経験せず入職するが離職に関しては、その人のモチベーションによって異なる。年々、メンタル面で退職者や心の弱い職員が増えつつある。メンタル面での退職の意向があった場合は引き留めないようにしている。
- ・始業時間ギリギリに来る新卒が昔はいなかったが散見された。メモを取ることは大切しかし、採用したからには病院側が責任を以って、育成をしていきたい。

(田上委員 診療情報管理士科)

- ・学生時代、オンラインと対面を両方体験。それぞれのメリットとデメリットがあった
- ・同じ授業でも対面の方がより授業を受けている気持になれた
- ・現場において、他部署の方とのコミュニケーションを図る際に苦戦したことがあった
- ・その知識を学んでどう現場で活かせるのかが分かる授業だと興味を引く

(佐々木委員 医療秘書科・診療情報管理士科)

- ・通信制の学校では、コロナ禍になり逆に学校に来られるようになった生徒もいた

(中嶋委員 医療秘書科・診療情報管理士科)

- ・社内でもコンプライアンス研修や指導がここ数年では指導なされている状況

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・現場の実情、医療業界の生の声を生徒に伝える機会の確保
- ・事務分野の職業観、将来構想を描かせるのは難しい
- ・リアリティある現場体験学習の機会を増やす

③ 今後の改善方策

- ・各学科のHRにて医療現場職員の講話機会を増やす
- ・シミュレーション実践の実演時間に実際の医療現場の方のご指導を仰ぎ、将来ビジョンを明確にする

④ 特記事項

特になし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

(垣野委員長 医療秘書科)

・現場で大切なのは、コミュニケーション。良かれと思って、患者様に伝えた言葉が第三者にとっては不快に感じる場合がある。人柄もとても重要。人と接してきた経験がどれだけあるのかは、アルバイト経験などを面接時に聞くことが多い

(田上委員 診療情報管理士科)

・かしまったビジネスの場だけの練習をしても意味ない、場に応じた対応をより身に付けて現場に出るとより役立っていく

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・地域の人が立ち寄れる場所の提供や、地域連携強化までには出来なかった
- ・地域柄,人の流れが多くあるが、学校側もなかなか地域イベントに貢献ができていない

② 今後の改善方策

- ・高校との連携を強化し、ボランティア団体への参入
- ・地域住民との接触の機会を取り入れていく努力を考えている

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（佐々木委員 医療秘書科・診療情報管理士科）

- ・昨年2回近隣のごみ拾いを行事の一環として実施をしたところ、地域の人が非常に喜んだ
- ・SDGsに関連して、環境にいい電気の消費方法を講義してもらった

（中嶋委員 医療秘書科・診療情報管理士科）

- ・マンションなどが増え、地域とのつながりが減少傾向にある

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員的能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・教員側の授業力向上研修制度の強化をしていきたい
- ・診療情報管理士指導者の確保が十分ではない

② 今後の改善方策

- ・医療業界職種の研修のアナウンスをしていく(特に医療現場経験のない教職員に対して)
- ・卒業生や医療現場職員に対して学会参加や指導者研修を受講している人の情報をいただく
- ・学校教員の指導力向上へ繋げる

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・卒業生の退職率調査や転職率の把握には至っていない
- ・卒業生の就業定着率調査を実施していきたい

② 今後の改善方策

- ・同窓会 SNS を通して卒業生のコミュニティの場を設置し、卒業生の動向を管理していく
- ・日本教育クワイエット提携 sankolink(卒業生支援)の活用方法を在学中から定期的に説明していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

(田上委員 診療情報管理士科)

- ・卒業時の同級生は、卒業後別分野へ転職している人もいれば退職している人も多い。
- ・卒業してからもまた学校に行こうと思えるには、在学中に授業の質や学校生活の充実がとても重要だと感じる

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・卒業生の転職キャリアサポートが十分ではない

② 今後の改善方策

- ・卒後教育体勢の充実を図る
- ・SNSにより呼びかけ、上位級資格取得への促しの告知 サポートをできることを周知

③ 特記事項

特になし

③ 学校関係者評価委員会コメント

（垣野委員長 医療秘書科・診療情報管理士科）

- ・退職した卒業生など現場は即戦力の人材を求めている場合が多いため、今後も専門学校と連携していきたい

（田上委員 新情報管理士科）

- ・卒業生として学校に求めるものの一つとして、働きながらの資格サポートなどがあるとありがたい

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

大規模災害を想定した防災訓練未実施である

② 今後の改善方策

定期的な防災訓練の実施をしていく

生徒、教員、地域住民を巻き込んだ災害対策,避難訓練の機会を検討

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

(中嶋委員 医療秘書科・診療情報管理士科)

・年に一度、消防を呼んで防災訓練を行っている

(佐々木委員 医療秘書科・診療情報管理士科)

・高校でも10月でも避難訓練を実施する予定

(垣野委員長 医療秘書科・診療情報管理士科)

・現場では職員が避難訓練ではなく、防災の後、患者を運ぶなどの対応を中心に行う

・リアリティのある救護の練習や搬送する練習を実際に行っている ⇒実際に血のりなどを使用する

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

高校生への医療事務職種の認知度を引き続き広めていきたい

② 今後の改善方策

高校授業での体験型医療事務学習の導入

卒業生の働く姿を動画や、スライド形式にし、医療事務現場職種選択が広くあることを伝えていきたい

③ 特記事項

特になし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

生徒個人情報管理、セキュリティチェックを全教職員に引き続き推進していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

地域活動、ボランティア活動を実施していきたい

② 今後の改善方策

地域連携を図り、医療専門学校の認知、生徒によるボランティア参画をしていきたい

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（中嶋委員 医療秘書科・診療情報管理士科）

・関内エリアの施設が新しくなり、人の流れが変わりつつある

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・地域社会との連携強化は最大の課題

近隣住民との交流を図るべく生徒によるボランティア活動に参加していきたい

医療校であるということの露出

清掃等、医療従事者としての振る舞いを広く公言していく努力が必要である

災害等の避難訓練を地域自治会等の指導により参加できるようにしていくと良い

・卒業生の支援体制の充実

卒業生の退職率調査や転職率を把握できていないことが課題である

卒業後に転職する際にも学校で支援してもらえらるということを在学中の時から伝えていく必要がある

卒後の就職先へも教員が訪問し卒後転職活動にもフォロー体制があることを広く伝えたい

同窓会体制を通じて SNS 管理をしていくことを課題とする